

2009年12月1日

各位

双日株式会社

双日、ベトナムの学校に毎年 20 万本の植林苗木を無償提供
～ 独自の植林プログラムで、緑を育み地域社会の発展に寄与 ～

双日株式会社は、植林活動を通じて地域社会の発展に寄与するためのプログラムをベトナムで立ち上げます。ベトナムの中学・高校を対象にアカシアの苗木を無償で配布し、植林作業によって学生に緑の大切さを学んでもらい、育った木を双日が購入することで経済活動の成立を実感してもらいます。

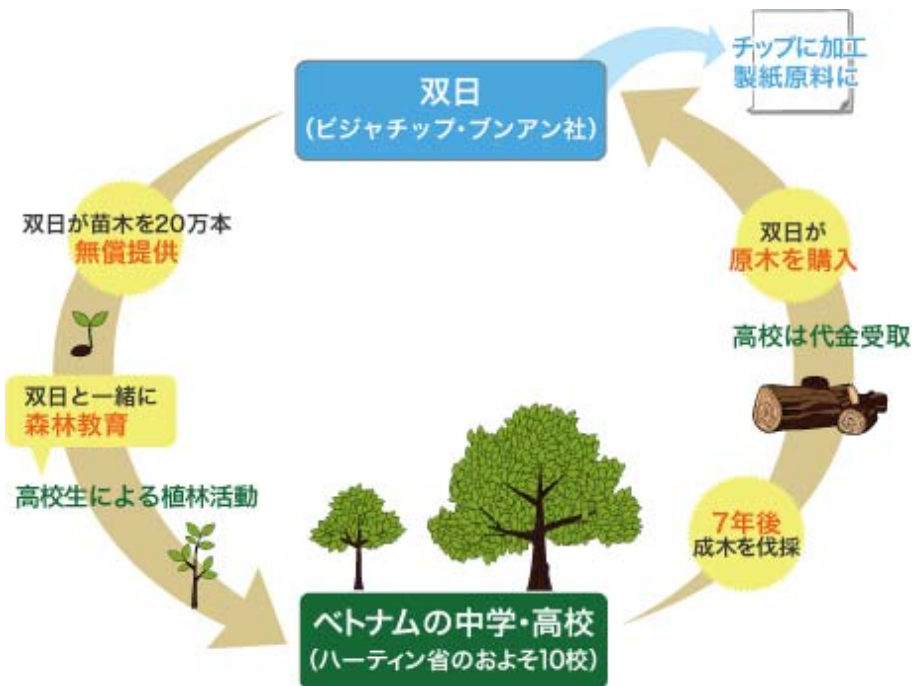
双日は、ベトナムの中部で、地元企業と合弁で 3 社の木材チップ加工・植林会社を運営しております。そのうちの 1 社であるビジャチップ・ブンアン社 (Vijachip Vung Ang Corporation) を通じて、ベトナム中部のハーティン省キーアン地区にあるおよそ 10 の中学・高校を対象にアカシアの苗木の無償配布を始めます。来年度には、他 2 社にも拡大し、双日グループの植林活動を地元に着させる計画です。

配布する苗木は初年度に 20 万本を予定しており、来年度以降も継続して行う予定です。苗木を受け取る学校は、裏山などの遊休地を利用して植林活動を行い、生徒に自然環境を守ることの大切さを教えます。双日から植林指導者を派遣し、環境教育を実施するほか、当地での植林事業の経済的な意義も説明する予定です。また、植林に必要な肥料も、双日グループで、ベトナムで肥料を製造販売するジャパン・ベトナム・ファーターライザー社 (Japan Vietnam Fertilizer Company) から供給する予定です。

さらに双日は、成長した木を学校から買い取りチップに加工、製紙原料にします。アカシアの木は、植林後 7 年で伐採期を迎えます。伐採された丸太はチップ加工会社であるビジャチップ・ブンアン社が買い取り、植林をした学校は代金を受け取ることができます。また、この植林システムが学校の外にも広がれば、地域社会に持続的な経済活動を生み出すことが可能となります。

アカシアは、土中に栄養分となる窒素を固定して地力を回復させる効果があります。土壌改良のほかにも、アカシアを植えることで熱風の発生が防がれたり、一時は姿を消していた動植物が戻ってきたり、また地下水が豊かに保たれるなど、環境改善へのさまざまな効果が確認されています。

世界でアメリカ、中国に次ぐ紙生産国である日本では、その原料となる木材チップの多くを輸入に頼っています。双日は、森林を守りつつ、重要な資源である木材チップを安定的に調達するために、地域社会に根付き経済価値を創出する新しい仕組みの植林事業の拡大に努めてまいります。



緑を育み、地域社会の発展に寄与する
双日独自の植林プログラム



学校周辺の植林予定地

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3924